



合同プレス発表会で  
GIONプロジェクトを発表



「COCOAR2」を  
インストールして  
写真にかざすと  
発表風景が見れます。

# 11

もだん割烹  
はなろくしょう  
(有限会社池田塗装)

## 歴史と伝統の 江戸情緒を感じてほしい

2月16日(火)に「第2回新商品・新サービス合同プレス発表会」が開催されました。その発表の中から今回は(有)池田塗装の飲食部門である「もだん割烹 はなろくしょう」の新サービスをご紹介いたします。

宇都宮市中心部の飲食店街

泉町にある「もだん割烹 はなろくしょう」は、(有)池田塗装の飲食部門。昨年7月7日にオープンした同店は、池田貴典社長の実姉である後藤貴美江さんが女将です。

店内を江戸情緒で統一し、また朱色を基調色としてイメージづくりをおこなっています。店名は日本の伝統色の名前「花緑青」からとったそうです。

当初から「日本の伝統の味と遊び方」をめざしている同店。「味」については、ホテルの料理長などを務めてきた大ベテランの板長が腕をふるっています。その一方で「伝統の和」のプロデュースは、女将が「地元



開店1周年記念のイベントでは、4人の芸者が踊りを披露

1周年記念イベントでは4人の芸者に店の外で踊ってもらったりするなど、その魅力発信に力を入れています。  
もちろん地酒なども取りそろえ、目でも耳でも舌でも宇都宮を感じてもらおうという同店の試みが始まっています。

人だけでなく、観光で訪れた方にも喜んでいただけるものを」と考え、江戸情緒あふれる芸者遊びをモチーフにした「宇都宮GIONプロジェクト」を企画、プレス発表会で発表されました。  
このサービスは、予約制で芸者(京都では芸妓)の華やかな芸や雰囲気味わっていたり、今では宇都宮には花柳界はなくなりましたが、高度経済成長期くらいまでは多くの芸者さんがいらつしゃって、練達の歌や踊りでお客さまを楽しませていたと聞いています。その雰囲気や再現したい」と話す女将は、6月には花代(芸者の料金)無料のイベントを開催したり、



(有)池田塗装飲食部門の  
店舗「はなろくしょう」の  
後藤貴美江女将